

10教育費 1教育総務費 1教育委員会費

① 教育委員会運営費（教育総務課）

1 教育委員会の開催（14回開催）

《取扱議案》

- (1) 向日市議会平成29年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (2) 向日市議会平成29年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (3) 平成30年度に使用する小中学校教科用図書の採択について
- (4) 平成30年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について
- (5) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について
- (6) いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について
- (7) 向日市議会平成29年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (8) 向日市議会平成30年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
- (9) 平成30年度 向日市の教育について
- (10) 人事に関することについて
- (11) 向日市教育委員会事務局組織規則及び向日市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則について
- (12) 向日市スポーツ推進委員の委嘱について
- (13) 人事に関することについて

2 総合教育会議の開催（1回開催）

第1回 平成29年10月31日（火）

- 議題 (1) 「北部地域の児童生徒数見込みについて」
(2) 意見交換

10教育費 1教育総務費 2事務局費

② 事務局運営費（学校教育課）

1 適応指導教室の設置

市内の不登校の児童生徒を対象に教育相談に応じたり、集団への適応力を培うための指導を行い、児童生徒の主体性、自発性を育成し、早期に学校へ復帰できるよう、適応指導教室「ひまわり広場」を設置した。

2 教育相談事業の充実

小中学生の保護者等を対象に来所教育相談（天文館、市役所等）や電話教育相談、学校への巡回教育相談や家庭訪問による教育相談を実施した。年々、相談件数が増加する中、継続的な相談へも丁寧に対応した。

- ・来所教育相談件数（延べ324件）、電話相談件数（延べ15件）
- ・学校への巡回教育相談件数（9校で60回 延べ239件）
- ・家庭訪問による教育相談件数（延べ62件）

10 教育費 1 教育総務費 3 幼児教育振興費

① 幼児教育振興費（教育総務課）

1 私立幼稚園就園奨励費補助事業

満18歳未満の児童が3人以上いる世帯の第3子以降の幼稚園児に係る保育料を無償化（所得制限あり）。

階 層 区 分	補 助 対 象 数	補 助 金 額
生活保護法の規定による保護を受けている世帯	2 人	235,300 円
市民税非課税世帯	45 人	10,286,500 円
市民税所得割非課税世帯	0 人	0 円
市民税所得割課税額が 77,100円以下の世帯	71 人	12,788,400 円
市民税所得割課税額が211,200円以下の世帯	410 人	46,168,400 円
上記区分以外の世帯	137 人	21,788,700 円
合 計	665 人	91,267,300 円

2 私立幼稚園児教材費補助事業（1人当たり補助金額42,000円）

	対 象 者 数	補 助 金 額
満 3 歳 児	54 人	2,268,000 円
3 歳 児	265 人	11,130,000 円
4 歳 児	226 人	9,492,000 円
5 歳 児	264 人	11,088,000 円
合 計	809 人	33,978,000 円

3 私立幼稚園設備費補助金 630,000 円 （1園当たり 210,000円）

4 乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 195,000 円 （1園当たり 65,000円）

5 私立幼稚園特別支援教育振興補助金

補 助 の 範 囲	1人当たり 補助金額	補 助 対 象 数	補 助 金 額
障がい児が3人以上在園している場合	98,000 円	19 人	1,862,000 円
障がい児が2人以下在園している場合	49,000 円	0 人	0 円
合 計		19 人	1,862,000 円

10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

② 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 小学校登下校交通安全事業

通学路の危険箇所38か所に交通指導員を配置し、通学路の安全を図った。更に「交通安全反射電柱幕」を電柱等に設置した。

また、向日町警察署等の協力を得て交通教室を開催するなど、交通安全意識の高揚に努めるとともに、1年生児童に「防犯ブザー」を配布し安全対策に努めた。

3 教育支援委員会

(1) 目的

市立小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童及び生徒について、障がい等に配慮した適切な就学について協議し、相談指導を行った。

(2) 委員構成 (27人)

市立小中学校教職員	9人	市内私立幼稚園教職員	3人
市立保育所職員	4	医師	1
市内私立保育園職員	3	保健師	1
特別支援教育専門職	4	教育委員会事務局職員	2

(3) 相談指導件数 95件

③ 学校給食管理費 (学校教育課)

1 学校給食 平成29年5月1日現在

学校名	給食実施児童数
向陽小学校	599人
第2向陽小学校	545
第3向陽小学校	407
第4向陽小学校	610
第5向陽小学校	538
第6向陽小学校	370
計	3,069

給食の方式・・・単独校調理場方式 給食の型・・・完全給食週5日制 米飯給食・・・週4回

2 衛生管理

- (1) 給食室ねずみ害虫駆除業務委託
- (2) 給食室排水桝清掃業務委託

3 給食備品の整備

食器消毒保管庫、牛乳保冷库、冷蔵庫、冷凍冷蔵庫、検食保存用冷凍庫等給食備品の配備

4 給食設備保守点検

給食機器保守点検業務委託

5 食中毒防止対策

- (1) 栄養士等給食関係従事者の検便検査の実施
- (2) 食材検査の実施

6 学校給食調理業務委託

学校給食調理業務委託実施 (全小学校)

④ 健康管理費 (学校教育課)

- 1 学校医による健康診断の実施 (内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科)
- 2 1年生児童に心電図検査を実施
- 3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 小学校就学予定者を対象とする就学時健康診断の実施
- 6 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

⑤ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑥ 学校施設管理費（教育総務課）

1 小学校施設修繕

- | | | | |
|----------------|-------|-----------------|-------|
| (1) シャッター設備修繕 | (全校) | (5) 給水管漏水修繕 | (4向小) |
| (2) 給食室排気ファン修繕 | (向陽小) | (6) 北校舎階段室雨漏り修繕 | (5向小) |
| (3) 渡り廊下床修繕 | (2向小) | (7) 放送設備修繕 | (6向小) |
| (4) 給食室給湯管修繕 | (2向小) | | |

2 施設保守管理業務委託等

- | | | | |
|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| (1) 機械警備業務 | (全校) | (12) GHP空調機器保守管理業務 | (全校) |
| (2) 学校管理業務 | (全校) | (13) 消防用設備等保守点検業務 | (全校) |
| (3) 樹木薬剤散布業務 | (3向小を除く全校) | (14) 受水槽・高架水槽清掃点検業務 | |
| (4) 除草他業務 | (向陽小) | | (向陽・5・6向小) |
| (5) 樹木剪定業務 | (2向小を除く全校) | (15) プールろ過装置保守点検業務 | (全校) |
| (6) 排水汚水管清掃業務 | (全校) | (16) 給食用リフト保守点検業務 | |
| (7) 便器清掃業務 | (全校) | | (3・4・5・6向小) |
| (8) プール改修設計業務 | (2向小) | (17) 自動ドア保守点検業務 | (向陽小) |
| (9) 給水設備器具保守点検業務 | (全校) | (18) エレベーター保守点検業務 | (向陽小) |
| (10) 運動施設遊具保守点検業務 | (全校) | (19) シャッター等保守点検業務 | (全校) |
| (11) 自家用電気工作物保安管理業務 | (全校) | (20) 放送設備保守点検業務 | (全校) |

3 小学校施設整備工事

- | | | |
|---------------|------------|---------------------|
| (1) トイレ改修工事 | (2向小を除く全校) | (平成29年度主要事業) |
| (2) 屋上防水等改修工事 | (3向小) | |

(平成29年度主要事業)

・子どもたちが快適な教育環境のもとで学校生活が送れるよう、校舎内のトイレ改修を実施した。

事業費：56,415,636円

改修内容：便器の洋式化、自動水洗化、照明器具のLED化

10 教育費 2 小学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業

児童一人一人の障がいの状態と発達の状態を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めるとともに、特別支援教育指導員（2向小・6向小）の活用や特別支援教育支援員の配置により、きめ細やかな支援を行った。また、全小学校に設置した通級指導教室において、児童の障がいに応じた指導を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	特別支援の国語教材、特別支援の算数教材、ストライクシート
第 2 向陽小学校	アレンジ輪投げ、タイムタイマー、水書板
第 3 向陽小学校	特別支援の漢字教材、バランスクッション
第 4 向陽小学校	スチールパーテーション、透明ひらがなスタンプセット
第 5 向陽小学校	ペグボード、スポットジャンピング
第 6 向陽小学校	フロアバスケット、サッカーゲーム

3 通級指導教室用教材備品購入

主 な 購 入 備 品 名
パンフレットケース、レターケース、会議テーブル、WISC-IV知能検査キット

4 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	14 人	143,290 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	57	361,031
校外活動費（宿泊を伴うもの）	6	6,790
修学旅行費	7	133,363
給食費	57	1,274,568
合 計		1,919,042

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書 of 整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成29年度末蔵書冊数
向 陽 小 学 校	405 冊	79 冊	190 冊	11,604 冊
第 2 向陽小学校	448	73	190	12,030
第 3 向陽小学校	445	92	190	10,190
第 4 向陽小学校	466	171	178	11,929
第 5 向陽小学校	502	63	120	12,041
第 6 向陽小学校	459	62	135	9,861
計	2,725	540	1,003	67,655

※ 購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分500冊を含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
向 陽 小 学 校	ポータブルアンプ、電子てんびん、乾燥棚、CDラジカセ
第 2 向陽小学校	アイロン、アイロン台、CDプレイヤー、直線定規
第 3 向陽小学校	デジタルスケール、振り子実験器、両手なべ
第 4 向陽小学校	跳び箱、キーボードアンプ、電子てんびん
第 5 向陽小学校	チューナー、片手なべ
第 6 向陽小学校	両面日本地図、アイロン

3 要保護・準要保護児童援助費

経済的理由により就学が困難と認められる児童に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学児童学用品費	51 人	2,070,600 円
学用品費等	380	5,317,435
校外活動費（宿泊を伴うもの）	63	140,493
修学旅行費	73	1,289,257
通学費	2	47,640
給食費	374	17,059,264
医療費	22	207,350
合 計		26,132,039

4 府の委託事業

府「学力向上システム開発校」 指定校：第2向陽小学校、第4向陽小学校

子どもが自分の考えを表現する力の育成を研究主題とし、研究授業や学習環境の整備等の取組を行い、子どもの質の高い学力及び教職員の指導力の向上を図った。

府「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」 実践研究校：第2向陽小学校

子どもの学習意欲や学力の向上及びふるさとへの愛着を深めることを研究主題とし、地域と連携した学校行事を行い、地域に根ざした特色ある学校づくりを実践した。

府「OASIS校」 研究指定校：向陽小学校

自校の学力状況に基づき、学力の充実・向上を目指す学校独自の取組を行い、教育力の向上と児童生徒の学力向上を図った。

③ ひまわり教育費（学校教育課）

児童の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実に支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

1 子ども未来づくり支援事業

児童の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員・保護者を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、児童の豊かな人間性や社会性を育成した。

「KYO発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 文化芸術活動

児童の創造活動を通して豊かな情操を養うために、小学生夏休み作品展を開催した。

10教育費 3中学校費 1学校管理費

② 学校管理運営費（学校教育課）

1 校長会、教頭会の開催

教育課題の解決を図るため、定例的に校長会、教頭会を開催した。

2 1年生生徒に「防犯ブザー」を配布するなど、不審者対策に努めた。

③ 健康管理費（学校教育課）

生徒及び教職員の健康保持・増進に努めるとともに、保健安全教育を実施した。

1 学校医による健康診断の実施（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）

2 1年生生徒に心電図検査を実施

- 3 結核健診精密検査、尿検査、教職員定期健康診断等の実施
- 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付契約に伴う負担金支出
- 5 学校薬剤師による空気、照度、水質、ダニ検査などの実施

④ 教育研究費（学校教育課）

各学校において、教職員の資質及び指導力向上のため校内研修の実施や教師用指導書等の購入を行った。

⑤ 学校施設管理費（教育総務課）

1 中学校施設修繕

- (1) 防砂ネット修繕 (勝山中) (2) 校務員室ガス管等修繕 (西ノ岡中)

2 施設保守管理業務委託等

- (1) 機械警備業務 (全校) (15) 自家用電気工作物保安管理業務 (全校)
 (2) 学校管理業務 (全校) (16) GHP空調機器保守管理業務 (全校)
 (3) 樹木薬剤散布業務 (全校) (17) 消防用設備等保守点検業務 (全校)
 (4) 除草他業務 (勝山中) (18) 受水槽・高架水槽清掃点検業務 (全校)
 (5) 樹木剪定業務 (寺戸中) (19) プールろ過装置保守点検業務
 (6) 便器清掃業務 (全校) (西ノ岡・寺戸中)
 (7) 給水設備器具保守点検業務 (全校) (20) シャッター等保守点検業務 (全校)
 (8) 運動施設遊具保守点検業務 (全校) (21) 放送設備保守点検業務 (全校)
 (9) 向日市中学校給食事業基本計画策定業務委託
 (10) 向日市中学校給食共同調理場基本設計業務委託
 (11) (仮称)向日市学校給食センター建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託
 (12) (仮称)向日市学校給食センター建設工事実施設計業務委託
 (13) (仮称)向日市学校給食センターに伴う周辺測量
 (14) 中学校給食配膳室整備工事設計業務委託

3 中学校施設整備工事

- (1) トイレ改修工事 (全校) **(平成29年度主要事業)**
 (2) 校務員室付随構造物取壊し工事 (西ノ岡中)
 (3) 校務員室解体工事 (西ノ岡中)
 (4) 自動火災報知設備移設工事 (西ノ岡中)
 (5) (仮称)向日市学校給食センター建設工事に伴う関連工事 **(平成29年度主要事業)**
 (6) (仮称)向日市学校給食センター建設工事に伴う水道工事 **(平成29年度主要事業)**
 (7) (仮称)向日市学校給食センター建設工事ただし建築・機械設備工事 **(平成29年度主要事業)**

(平成29年度主要事業)

・子どもたちが快適な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、校舎内のトイレ改修を実施した。

事業費：37,468,764円

改修内容：便器の洋式化、自動水洗化、照明器具のLED化

・中学校給食を実施するため、(仮称)向日市学校給食センター建設工事を着工した。

事業費：133,172,252円

10 教育費 3 中学校費 2 教育振興費

① 特別支援学級費（学校教育課）

1 特別支援教育充実事業

生徒一人一人の障がいの状態と発達の状況を把握し、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、学習及び発達の保障に努めた。また、特別支援教育支援員を配置し、きめ細やかな支援を行った。

2 特別支援学級用教材備品購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝 山 中 学 校	3連スクリーン、フィットネスヨガマット、学習ボード
西ノ岡中学校	英語フラッシュカード、水筆指導板
寺戸中学校	パーテーションホワイトボード、掃除機

3 特別支援教育就学奨励費

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	7 人	82,425 円
学用品等購入費・校外活動費（宿泊を伴わないもの）	19	231,335
校外活動費（宿泊を伴うもの）	0	0
修学旅行費	7	377,592
体育実技用具費（柔道）	3	7,350
合 計		698,702

② 教育助成費（学校教育課）

1 学校図書館図書を整備

学 校 名	購入冊数	寄贈冊数	廃棄冊数	平成29年度末蔵書冊数
勝 山 中 学 校	494 冊	152 冊	190 冊	17,515 冊
西ノ岡中学校	465	54	90	12,353
寺戸中学校	492	42	90	13,110
計	1,451	248	370	42,978

※ 購入冊数には、ふるさと応援寄附等による購入分187冊含む。

2 教材備品の整備

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	蒸留フラスコセット、モノコード
西ノ岡中学校	電子ホイッスル、ミシン
寺戸中学校	冷蔵庫、拡声器、運動用マット

3 吹奏クラブの充実を図るための楽器等の購入

学 校 名	主 な 購 入 備 品 名
勝山中学校	ステレオシステム
西ノ岡中学校	ハーモニーディレクター、スタンド

4 要保護・準要保護生徒援助費

経済的理由により就学が困難と認められる生徒に、学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。

区 分	人 数	給 付 額
新入学生徒学用品費	81 人	3,839,400 円
学用品費等	237	6,013,348
校外活動費（宿泊を伴うもの）	1	6,100
修学旅行費	75	4,273,279
通学費	1	83,740
医療費	11	77,743
体育実技用具費（柔道）	42	195,316
合 計		14,488,926

5 府の委託事業

府「法やルールに関する教育」研究指定校事業 研究指定校：寺戸中学校

京都府教育委員会が取り組む「法やルールに関する教育」を効果的に推進するため、実践テーマの設定や各教科や領域に応じた指導計画の作成等を行い、人や社会とつながり、共生していくための力を育成するための研究を行った。

府「土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業」 実践研究指定校：勝山中学校

実践研究校：西ノ岡中学校

子どもの学習意欲や学力の向上及びふるさとへの愛着を深めることを研究主題とし、地域と連携した補充授業等を行い、地域に根ざした特色ある学校づくりを実践した。

府「OASIS校」 研究指定校：西ノ岡中学校、寺戸中学校

自校の学力状況に基づき、学力の充実・向上を目指す学校独自の取組を行い、教育力の向上と児童生徒の学力向上を図った。

③ ひまわり教育費（学校教育課）

生徒の豊かな人間性や社会性を育てるため、学校での体験活動やふるさと学習、教員研修等の充実を支援し、特色ある学校づくりの推進を図った。

また、授業やクラブ活動に対して、社会人講師の導入を図った。

1 子ども未来づくり支援事業

生徒の実態や地域の特色を踏まえ、社会人講師などによる教育活動、地域との連携による体験活動並びに教員・保護者を対象とした講演会及び研修会を実施した。

2 体験活動の充実

豊かな体験活動を通して、生徒の豊かな人間性や社会性を育成した。

「KYO発見仕事・文化体験活動」推進事業

3 文化芸術活動

弁論大会、英語スピーチ大会及び中学生美術展・書道展を開催し、生徒の発表の場を設けるとともに教科学習の活性化を図った。

4 マーチングバンド備品購入

寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部用に楽器等を購入した。

主 な 購 入 備 品 名
メトロノーム、マレット、チューナー、キーボード、譜面台

10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

② 社会教育委員費（生涯学習課）

1 社会教育委員 12人（男6人、女6人） ※平成29年4月1日現在

2 社会教育委員の会議

	開催日・会場	内 容
1	5月11日(木) 午後1時30分～午後3時 図書館 研修室	・平成29年度社会教育関係事業計画について ・平成29年度社会教育委員関係の事業予定について
2	7月24日(月) 午後3時～午後4時30分 福社会館 研修室	・平成29年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について ・平成29年度乙訓社会教育委員等連絡協議会総会・研修会参加報告について ・平成29年度京都府社会教育委員連絡協議会総会参加報告について
3	11月21日(火) 午後2時30分 ～午後4時30分 文化資料館 研修室	・研修「社会教育施設におけるボランティア活動及び歴史体験交流センター・文化資料館展示室の見学について」 ・平成29年度近畿地区社会教育研究大会（京都大会）参加報告について
4	2月14日(水) 午後2時～午後4時 図書館 研修室	・平成30年度社会教育関係団体等への補助金（予算案）について ・平成29年度社会教育関係事業報告について ・平成30年度社会教育指導の重点（案）について

3 各種研修会・大会

研修会・大会	期 日	会 場	参加人数
乙訓社会教育委員等連絡協議会 総会・研修会	6月13日(火) 午後1時30分～午後4時15分	長岡京市中央生涯学習センター 他	6人
京都府社会教育委員連絡協議会 総会	6月30日(金) 午後1時30分～午後4時30分	アグリセンター大宮	6人
近畿地区社会教育研究大会 「京都大会」	9月7日(木) 午前10時20分～午後3時40分	京都テルサ	6人
乙訓社会教育委員等連絡協議会 研修会	2月19日(月) 午後1時30分～午後4時	乙訓総合庁舎	5人

③ 社会教育活動費（生涯学習課）

1 生涯学習

(1) 向日市生涯学習「人材ほっとバンク」

自らの知識、技能等を市民の学習活動に役立てる熱意のある方及び団体に指導者として登録していただき、希望する市民に紹介した。

(2) 生涯学習推進サークル「まなぼうや」の活動支援

生涯学習の推進に取り組むボランティアサークルの活動について、各種講座が円滑に開催されるよう、広報活動等の支援を行った。（合計6講座）

(3) 生涯学習情報紙の発行

生涯学習関連事業を広報するため、生涯学習情報（前・後期）及び子ども向けの夏休み特集の情報紙を計3回発行した。

2 人権教育

人権問題の正しい理解と認識を深め、市民の人権意識の高揚を図るため、研修会を2回開催した。

	開催日	会場	内容	講師	参加人数
1	9月8日(金) 午前10時～正午	福祉会館 大会議室	講演 「わたしからはじまる部落問題」	一般財団法人 大阪府人権協 会業務執行理 事兼事務局長	34人
2	1月24日(水) 午前10時～正午	福祉会館 大会議室	講演 「対話を通してつくる共生社会 ～障がい(バリア)のない 社会を目指して～」	大阪市立大学 非常勤講師 他	31人

3 各種講座・研修会

(1) 学校支援ボランティア養成講座の開催

開催日	会場	内容	参加人数
3月16日(金) 午前10時～ 午前11時30分	市役所 大会議室	研修・意見交流 「コーディネート力について ～取組紹介と意見交流～」	10人

(2) 家庭教育講座の開催

開催日	会場	内容	講師	参加人数
3月3日(土) 午前10時～正午	福祉会館 大会議室	講演 「ほめ上手はしつけ上手 ～ほめ上手になる秘訣を 一緒に学びましょう～」	京都府立医科大学 大学院医学研究科 小児科学	28人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

・市立小中学校のPTA（9校） 180,000円

④ 青少年健全育成費（生涯学習課）

1 健全育成事業

(1) ジュニア・リーダー養成講座

ア 実施日及び内容

実施日	内容	会場
6月25日(日)	開講式(説明、班分け、ゲーム)	第1留守家庭児童会
8月4日(金)	JR見学会	JR西日本吹田総合車両所京都支所
9月3日(日)	飯ごう炊さん	第6向陽小学校 野外炊飯施設
11月26日(日)	竹細工	寺戸公民館
12月17日(日)	クリスマス会(調理実習、プレゼント交換)	第6向陽小学校 家庭科室
1月13日(土)	スポーツ交流会	向日市民体育館
3月18日(日)	閉講式(修了証書授与、ゲーム)	第1留守家庭児童会

イ 参加者 市内の小学5、6年生及び中学生 14人

(2) 放課後児童サポート事業（京のまなび教室推進事業）

全学年の児童が一斉に下校することにより、児童を極力一人にさせない下校を確保し、授業終了時刻から下校時刻までの時間に、低学年児童が学校で友達と自由に遊びながら、体力づくりや仲間づくりをすることによって、心身ともに健康な児童を育てるよう実施した。

- ア 実施回数 134回
- イ 会場 市内全小学校
- ウ 内容 グラウンド・体育館での自由遊び、図書室での読み聞かせ、教室での自主学習 など
- エ サポーター 遊び・学習サポーター、安全サポーター
- オ 対象者 1～2年生児童（2向小のみ1～6年生の希望者による学習支援を実施）

(3) 地域で支える学校教育推進事業

実行委員会を中心として、地域住民や保護者、地域ボランティアなどの知識や経験、能力、技術を生かして子どもの成長や学校の教育に生かせるようコーディネートし、地域全体で子どもが健やかに育まれる環境づくりと地域の教育力の向上を目指して実施した。

平成29年度は、新たに第4向陽小学校で事業に取り組んだ。

- ア 実施場所 向陽小学校、第2向陽小学校、第3向陽小学校、第4向陽小学校
第5向陽小学校、第6向陽小学校、勝山中学校、西ノ岡中学校
- イ 実行委員 43人（男16人、女27人）
- ウ 内容 学習支援活動、環境整備、読書活動支援など

(4) 野外炊飯施設使用状況

使用回数 (単位：回)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	1	1	2	1	1	1	—	—	1	1	—	1	10

(5) 青少年健全育成市民ふれあいコンサート

- ア 実施日 3月26日（月）
- イ 出演団体 勝山中学校吹奏楽部
西ノ岡中学校吹奏楽部
寺戸中学校吹奏楽・マーチングバンド部
京都府立向陽高等学校吹奏楽部
京都西山高等学校吹奏楽部
- ウ 運営協力 ARTY BEARS

2 関係団体との連携活動

(1) 健全育成活動

少年補導委員会をはじめ、PTA等の関係団体とともに補導パトロールを実施し、青少年健全育成活動に努めた。

主な取組

実施日	内容
学校の長期休業日	少年補導の地区ごとに夜間パトロール、各支部パトロール延べ898人参加 (うち8月5日市内一斉パトロール158人参加)
随時	重点地区パトロール

(2) 環境浄化活動

青少年を取り巻く地域環境の浄化について、京都府を主体に関係団体が協力、連携してゲームセンター、ビデオ店、小売店などの実態を調査し、青少年の健全育成への理解と協力を求めた。

また、自販機等の調査については、京都府社会環境浄化推進員が随時行った。

主な取組

実施日	内容
7月13日(木)	少年を非行から守る全国強調月間として環境浄化立ち入り調査を実施(8人) 市内コンビニエンスストア、カラオケボックスを対象に実態調査

(3) 啓発活動

広報「むこう」(7月号)に啓発文を掲載

(4) 子ども会育成者説明会(総会時)

ア 実施日 4月23日(日)

イ 会場 寺戸公民館 大会議室

ウ 内容 向日市子ども会の概要、子ども会関係団体について、子ども会育成連絡協議会
主管事業について

3 成人式

(1) 実施日 1月8日(祝・月)

(2) 会場 イオンモール京都桂川3階 イオンシネマ

(3) 内容 記念式典

交流会：思い出のスライドショー・ビデオレター

佛教大学よさこいサークル「紫踊屋」よさこい演舞

(4) 出席者 成人401人(対象者561人) 来賓60人

4 各種団体活動補助

社会教育関係団体の活動に対して補助を行った。

(1) 向日市子ども会育成連絡協議会 400,000円

(2) 向日市少年補導委員会 500,000円

(3) 向日市青少年健全育成連絡協議会 200,000円

(4) 物集女青少年健全育成会議 20,000円

10教育費 4社会教育費 2中央公民館費

② 公民館運営費（中央公民館）

1 中央公民館主催事業

生涯学習時代を迎えた今日、市民の多様化する学習ニーズに応えられる各種講座を開催するなど、学習機会及び情報の提供並びに市民の自主的な学習への支援を行い、生涯学習への環境づくりに努めた。

(1) 講座

事業名	実施日（期間）	参加対象・人数	講師・指導者	内 容
ふしぎ発見！ 理科教室 （5回）		小学校4 ～6年生		理科好きの子どもを育成するため、国家資格を有する科学の専門家から理科の不思議について学んだ。
	① 6月24日（土）	11人	京都技術士会	天気がわかる？ふしぎな結晶
	② 7月22日（土）	17人	京都技術士会	あめんぼは、なぜ水に浮く
	③ 8月26日（土）	16人	京都技術士会	微生物で“はっこう”させよう
	④ 9月23日（土）	11人	京都技術士会	粉のふしぎ
	⑤ 10月28日（土）	7人	京都技術士会	オリジナルバッグを作ろう
夏休み 子ども体験 講座	8月4日（金）	100人	J R 西日本吹田総合 車両所京都支所職員	J R 西日本吹田総合車両所京都支所 見学会
子ども ふれあい講座	8月3日（木）	41人	近畿財務局 京都財務事務所職員	ゲームで楽しく親子で学ぼう！おこづ かいの使い方
市民教養講座	10月31日（火）	40人	ドコモショップ向日店 スタッフ	シニアのためのスマートフォン講座
	2月24日（土）	28人	京都府立大学 准教授	認知を支えるワーキングメモリ ～認知機能について気を付けたいこと ～
市民健康講座	1月20日（土）	14人	京都府立医科大学 病院教授	今話題の感染症とその対策
	3月18日（日）	8人	京都府立医科大学 講師	食物アレルギー ～何を食べたら良いの？～
国際理解講座	11月29日（水）	28人	京都府名誉友好大使	中国文化を感じよう 二胡のミニコンサート&体験会

(2) 展示・発表

事業名	実施日(期間)	参加対象・人数	会場	内 容
市民文化展	12月2日(土) ～6日(水)	市民、在勤 在学15歳 以上 出品者78人 来場者694人	イオンモール京都桂川 イオンホール	市民の創作による作品を展示・発表する場を提供するとともに、市民の文化活動の活性化を図った。
学習発表会 「舞台の部」	3月21日(祝)	8クラブ 106人	寺戸公民館 大会議室	公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表 フラダンス・日本舞踊・体操 オカリナ・ギター・合唱

2 休館

平成27年度に市民会館・中央公民館の耐震診断を実施した結果、耐震性が低いことから、平成28年4月から休館

10 教育費 4 社会教育費 3 地区公民館費

① 地区公民館費(中央公民館)

1 地区公民館における事業

市民が身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。

講 座

公民館名	内 容	実 施 日	参加者数	講 師 ・ 指 導 者
寺 戸	教養講座 「唱歌を楽しもう」	10月18日(水)	29人	唱歌クラブ講師
	教養講座 「楽しく学ぶ干支剪画教室」	11月15日(水)	20人	剪画作家
	趣味・教養講座 「寄せ植えを楽しもう」	12月14日(木)	30人	園芸店
物 集 女	かわいいお正月飾りづくり	12月2日(土)	16人	フラワーアレンジメント講師
森 本	健康は足元から！一生自分の足で歩こう！目からウロコの足育講座と健康体操	10月20日(金)	36人	健康アドバイザー
	プリザーブドフラワーで作るXmasリース	11月25日(土)	17人	フラワーデザイナー
	アート書道で手作りカレンダー	12月16日(土)	27人	書道教室主宰
鶏 冠 井	四季で移りゆく苔玉	7月28日(金)	19人	生花店
上 植 野	趣味・教養講座 金箔手工芸	12月5日(火)	18人	金箔手工芸家

2 グループ活動

(1) 地区公民館クラブ数・部員数

公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
クラブ数	43	6	15	11	11	86
部員数	587人	86人	206人	278人	143人	1,300人

(2) 学習発表会

公民館クラブ・サークルの1年間の学習成果発表（展示の部）

公民館名	実施日	展示・掲示発表 クラブ数	展示・掲示発表 出展者数	展示・掲示発表 出展品数
寺戸	1月27日(土)・28日(日)	13	172人	327点
物集女	2月3日(土)・4日(日)	7	99人	25点
森本	2月24日(土)・25日(日)	11	144人	63点
鶏冠井	2月17日(土)・18日(日)	11	269人	278点
上植野	2月10日(土)・11日(日)	3	23人	169点

3 地区公民館使用状況

(単位：回、人)

公民館名	寺戸	物集女	森本	鶏冠井	上植野	計
利用回数	1,677	489	557	381	527	3,631
利用人数	19,623	6,932	9,063	4,961	6,204	46,783

10教育費 4社会教育費 4文化財保護費

② 文化財保護事業費（文化財調査事務所）

市内の文化財を保護し、普及・活用を促進するため、次の事業を実施した。

1 市域に所在する指定文化財等

平成30年3月31日現在

		有形文化財								無形文化財	民俗文化財		記念物			文化的景観	伝統的建造物群保存地区	保存技術	合計
		建造物		美術工芸品							有形	無形	史跡	名勝	天然記念物				
		件数	棟数	彫刻		絵画	古文書	考古資料	歴史資料										
				仏像	石造物														
国	指定	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6
	登録	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
府	指定	2	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	登録	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	選定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	暫定登録	0	0	0	0	0	7	16	6	0	2	0	1	0	0	0	0	0	32
市	指定	0	0	7	1	2	5	7	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	27
合計		23	24	7	1	3	14	24	7	0	3	2	5	0	0	1	0	0	90

平成29年度、文化財保護の充実を図るため、京都府が「暫定登録文化財」の制度を創設した。

本市からは、32件の文化財が登録された。

2 有形文化財の保護

(1) 文化財火災予防運動（乙訓消防組合との共同事業）

平成30年1月23日～29日（平成30年1月26日（金）は、「第64回文化財防火デー」）に次の運動を行った。

- | | |
|--------|--|
| ア 広報活動 | 広報紙による啓発と併せ、市庁舎及び社寺に看板設置 |
| イ 消防訓練 | 1月25日（木）、北真経寺にて実施 |
| ウ 立入検査 | 1月22日（月）及び25日（木）、指定文化財及び登録文化財の建造物に立ち入り、消防設備の点検及び防火意識の高揚を図った。 |

(2) 有形文化財を活用した文化活動の振興を図るため、文化活動等への補助を行った。

国登録有形文化財 中小路家住宅 40,000円

(3) 向日市文化財保護事業補助金事業

社寺及び民間所有の指定文化財及び登録文化財等の維持管理経費への補助を行った。

- | | | |
|----------------------|--------------|----------|
| ア 向日神社本殿（国指定重要文化財） | 防災設備維持管理・修理等 | 218,000円 |
| イ 須田家住宅（府指定建造物） | 防災設備維持管理等 | 24,000円 |
| ウ 南真経寺開山堂・本堂（府指定建造物） | 防災設備維持管理等 | 23,000円 |

(4) 農家住宅の活用について

平成28年度に寄附を受けた農家住宅の活用について、活用基本設計書を作成した。

また、庁内活用プロジェクト会議を3回行い（うち、1回は先進地視察）、国登録有形文化財への検討を行った。

3 無形民俗文化財の保護

無形民俗文化財の保存団体に、文化財の保存と後継者育成に対し補助を行った。

- | | |
|--------------------------|---------|
| ア 京都府指定無形民俗文化財 鶏冠井題目踊 | 35,000円 |
| イ 向日市指定無形民俗文化財 鶏冠井シャナンボウ | 35,000円 |

4 記念物の保護

(1) 史跡公園整備事業（平成29年度主要事業）

史跡長岡宮跡大極殿西・北面回廊地区を保全整備し、隣接する史跡指定地等との一体化を行い活用の促進を図るため、遺構表示や回廊の建物復元などの史跡整備工事（2か年事業の1年目）を行った。

整備工事面積 1,712.88㎡

整備完了後活用面積 5,612.88㎡

ア 保全整備工事施工監理業務

(ア) 内容 工事施工監理及びアズマヤの建築確認申請を行った。

(イ) 委託期間 平成29年7月28日～平成30年3月27日

(ウ) 委託先 (株)空間文化開発機構

(エ) 委託料 1,436,400円

イ 史跡保全整備工事

- (ア) 内 容 遺構表示工事やアズマヤ設置工事を行った。
- (イ) 工 期 平成29年8月1日～平成30年3月27日
- (ウ) 請 負 者 (株) 富士工務店
- (エ) 工 事 費 48,432,600円

(2) AR長岡宮拡張事業 (平成29年度主要事業)

既存の「AR長岡宮」のアプリケーション内容を拡張し、今回作成した専用VRゴーグルを使用して3Dプレイを可能にした。

ア 委託期間 平成29年6月9日～平成30年1月31日

イ 委託先 (株) ジーン

ウ 委託料 2,457,000円

エ VRゴーグル配布記念事業

- (ア) 内 容 奈良平城京から長岡京に遷都された日、延暦3(784)年11月11日にちなみ、11月11日をVRゴーグル配布開始日とし、784部を配布用として用意した。配布開始日に朝堂院公園で開催する「朝堂院の絵灯路 長岡宮と向日町の町場の風景事業」と合わせ、ヘッドマウントディスプレイによるデモンストレーションも行った。
- (イ) 配 布 日 平成29年11月11日(土)
- (ウ) 配布場所 史跡長岡宮跡 朝堂院公園案内所
- (エ) 配布条件 「AR長岡宮」をダウンロードした端末を提示していただいた市民等に、1人(1台)につき1部配布した。

(3) 史跡乙訓古墳群地籍調査業務

史跡乙訓古墳群の適正な保護と活用の促進を検討するため、国土調査法に基づき、史跡乙訓古墳群の境界確定測量を行った。

五塚原古墳 38,155㎡

寺戸大塚古墳 5,647㎡

(4) 史跡・遺跡等文化財用地の保存と維持管理

市内には国・府及び市指定史跡などが存在する。これらの遺跡8か所の保存・維持について、除草等が必要なものについて(公財)向日市埋蔵文化財センターに委託し、各種の維持管理事業を実施した。

史跡指定地一覽表

史跡長岡宮跡

(単位：㎡)

名称	地区	指定年月日	所在地	小字	史跡の所有形態							整備状況				
					国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
史跡長岡宮跡	大極殿・小安殿地区	昭和39年4月27日	鶏冠井町	大極殿・菰所	0.00	2,510.61	557.22	0.00	0.00	0.00	0.00	3,067.83	3,067.83	0.00	0.00	3,067.83
	内裏内郭築地・回廊地区	昭和48年4月23日		荒内	0.00	1,165.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,165.98	1,165.98	0.00	0.00	1,165.98
	築地地区	昭和56年9月8日		稲葉	323.96	0.00	633.70	0.00	0.00	0.00	0.00	957.66	957.66	0.00	0.00	957.66
	朝堂院西第四堂地区	平成4年5月6日		山畑	0.00	0.00	1,867.86	0.00	0.00	0.00	0.00	1,867.86	1,867.86	0.00	0.00	1,867.86
	宝幢地区	平成11年1月14日		菰所	0.00	0.00	577.74	0.00	0.00	328.95	0.00	906.69	0.00	741.74	164.95	906.69
	閤門地区	平成14年3月19日		菰所	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	0.00	0.00	769.84	0.00	0.00	769.84	769.84
	朝堂院西第四堂・南門地区	平成14年9月20日		山畑	0.00	0.00	662.18	0.00	0.00	0.00	0.00	662.18	662.18	0.00	0.00	662.18
	閤門前庭・朝堂院南面回廊地区	平成18年7月28日		菰所・山畑	0.00	0.00	1,213.87	0.00	0.00	572.79	0.00	1,786.66	922.34	0.00	864.32	1,786.66
	野上町植		南開													
	大極殿東面回廊地区	平成22年2月22日	鶏冠井町	菰所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	324.03	0.00	324.03	0.00	0.00	324.03	324.03
	大極殿西・北面回廊地区	平成26年3月18日		大極殿	0.00	0.00	1,684.81	0.00	0.00	1,082.18	0.00	2,766.99	0.00	0.00	2,766.99	2,766.99
内裏内郭築地・回廊・外郭築地地区	平成28年10月3日	東井戸・菰所		0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	0.00	0.00	1,410.73	0.00	0.00	1,410.73	1,410.73	
計					323.96	3,676.59	9,377.95	0.00	0.00	2,307.95	0.00	15,686.45	8,643.85	741.74	6,300.86	15,686.45

史跡乙訓古墳群

(単位：㎡)

名称	指定年月日	所在地	小字	史跡の所有形態							整備状況				
				国有地	府有地	市有地	公社等有地	社寺有地	私有地	その他	計	整備地	仮整備地	未整備地	計
寺戸大塚古墳	平成27年3月10日 (平成28年3月1日追加)	寺戸町	芝山	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,740.10	1,434.00	4,174.10	0.00	0.00	4,174.10	4,174.10
元稲荷古墳	平成28年3月1日	向日町	北山	0.00	2,069.96	6,442.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8,511.96	0.00	0.00	8,511.96	8,511.96
五塚原古墳	平成28年3月1日	寺戸町	芝山古城	0.00	0.00	7,913.00	0.00	0.00	790.00	28,416.00	37,119.00	0.00	0.00	37,119.00	37,119.00
南条古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	0.00	0.00	656.23	656.23
物集女塚古墳	平成28年3月1日	物集女町	南条	0.00	0.00	1,911.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,911.00	1,911.00	0.00	0.00	1,911.00
計				0.00	2,069.96	16,266.00	0.00	656.23	3,530.10	29,850.00	52,372.29	1,911.00	0.00	50,461.29	52,372.29

5 埋蔵文化財の保護

(1) 埋蔵文化財の届出審査等

周知の埋蔵文化財包蔵地内（遺跡内）の文化財保護法による届出・通知を審査し、その他各種の調査を実施した。

- ア 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 48 件
- イ 建築確認申請に係る文化財審査 283 件
- ウ 届出書受理件数 246 件（遺跡内での個人・法人等が実施した土木工事件数）
- エ 通知書受理件数 32 件（遺跡内での公共機関が実施した土木工事件数）
- オ 発掘調査件数 18 件 1,338.65 m²
（「平成29(2017)年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表」参照）
- カ 工事立会件数 223 件
- ※ オ、カの業務は、（公財）向日市埋蔵文化財センターに委託して実施した。

(2) 埋蔵文化財の保存と整備（各種の調査、報告、広報、普及など）

埋蔵文化財の保存と各種の調査及び資料収集等を実施した。

- ア 国宝重要文化財等保存整備費補助金交付対象事業 20,350,000 円
- イ 向日市単独事業 2,160,000 円
- ウ 原因者負担金事業 12,150,065 円
（公財）向日市埋蔵文化財センターが原因者から受託
- エ 平成29年度埋蔵文化財調査

(7) 埋蔵文化財発掘調査地一覧表

平成29（2017）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表								
	遺跡名	調査回数	調査地	調査原因 (土地所有者等)	調査期間	面積 (m ²)	出土 遺物数 (箱)	備考
1	長岡宮跡	第519次	寺戸町西野辺	法人開発	17.03.23～17.04.14	87.95	1	
2	長岡宮跡	第520次	鶏冠井町東井戸	法人開発	17.03.27～17.04.14	62.50	5	
3	長岡宮跡	第521次	鶏冠井町東井戸、萩所	向日市	17.07.14～17.09.21	94.40	29	※
4	長岡宮跡 元稲荷古墳	第522次 第11次	向日町北山	向日市	17.10.03～17.10.10	15.00	1	
5	長岡宮跡	第523次	鶏冠井町荒内	法人開発	17.10.30～17.11.10	24.00	5	
6	長岡宮跡	第524次	森本町藪路	法人開発	17.12.12～17.12.26	84.00	2	
7	長岡宮跡	第525次	森本町上森本	個人開発	18.01.10～18.01.17	30.00	9	※
8	長岡京跡	左京第594次	鶏冠井町門戸	法人開発	17.06.26～17.07.31	256.80	3	
9	長岡京跡	左京第596次	鶏冠井町十相	法人開発	18.01.18～18.01.26	30.00	1	※
10	長岡京跡	左京第597次	上植野町菱田	法人開発	18.01.29～18.02.06	30.00	0	※
11	長岡京跡	左京第598次	上植野町北小路	法人開発	18.01.22～18.02.09	60.00	10	
12	長岡京跡	右京第1160次	寺戸町西野	法人開発	17.07.18～17.07.21	24.00	0	※
13	長岡京跡 五塚原古墳	右京第1162次 第9次	寺戸町芝山 (五塚原古墳)	向日市	17.08.01～17.11.10	84.00	1	※
14	物集女城跡 中海道遺跡	第11次 第74次	物集女町中条	向日市	18.01.30～18.03.28	150.00	9	※
15	笹屋遺蹟	第12次	寺戸町向畑、笹屋	個人開発	17.06.22～17.06.28	30.00	1	※

平成29（2017）年度埋蔵文化財発掘調査地一覧表								
16	北ノ口遺跡	第5次	物集女町坂本	法人開発	17.08.01～17.08.10	30.00	1	※
17	南条遺跡	第9次	物集女町南条	法人開発	17.11.28～17.12.08	30.00	1	※
18	西ノ岡遺跡	第5次	物集女町吉田	向日市	17.09.25～17.11.30	216.00	1	
合計						1,338.65	80	

※：国庫補助対象事業

一発掘調査あたりの平均

74.37

4.4

無印：民間開発等原因者負担金による事業（市公共事業を含む）

(イ) 発掘調査面積は、1件平均74.37㎡である。

(3) 報告書等刊行事業

『向日市埋蔵文化財調査報告書 第108集』 300冊〔埋蔵文化財発掘調査事業〕

(公財) 向日市埋蔵文化財センターに委託等を行った発掘調査の概要報告書を刊行した。

(4) 市内埋蔵文化財調査出土遺物の保存と整理

ア 長岡京跡ほか出土遺物保存化学処理業務

(ア) 目的 埋蔵文化財発掘調査により出土した青銅製品の変形や腐食を防ぎ、向日市文化資料館等で展示したり、活用できるようにするため。

(イ) 処理方法 樹脂含浸法

(ロ) 委託期間 平成29年5月18日～平成30年1月31日

(ハ) 点数 長岡京跡出土銭貨 50点

(ニ) 委託先 (株)文化財サービス

(ホ) 委託料 498,960円

イ 長岡京跡ほか出土遺物整理業務

(イ) 目的 飽和状態にある文化財調査出土遺物を整理・分類し、収蔵庫を適正に管理するとともに、公開活用に供するため。

(ロ) 業務内容 出土遺物のランク分け及び台帳・目録の作成等を行った。

(ハ) 委託期間 平成29年7月11日～平成29年12月22日

(ニ) 点数

(コンテナ)

ランク	コンテナ数	
	平成29年度事業分	総数
A	8箱	2,498箱
B	12箱	1,707箱
C	5箱	1,544箱
D	35箱	6,082箱
計	60箱	11,831箱

(遺物)

ランク	遺物量	
	平成29年度事業分	総数
A	109個	26,208個
B	522個	45,513個
計	631個	71,721個

A：将来にわたり保存・活用の必要性・可能性のある出土品で、活用度のきわめて高いもの

- ①報告書に出土品の詳細を記した記載があること。
- ②報告書に実測図が掲載されていること。
- ③報告書に出土品の写真図版があること。
- ④完形品又は欠損部分を補填した復元品であること。
- ⑤すぐに文化資料館で展示できること。
- ⑥上記①～⑤の条件をすべて満たしていること。

B：Aの区分に次ぐもの

- ①上記A①～⑤の条件を満たさないもの
- ※特に欠損部分を復元していない出土品が多い。
※展示の都合により、復元し完形品となった場合はAにランクを上げる。

C：Bの区分に次ぐもの

- ①上記A①～⑤の条件を満たさないもの
 - ②報告書の詳細記載はないが、集計的に引用されたり、統計が取られているもので、実測図等がなくても具体的に原資料と調査担当者以外でも抽出できるもの。
- ※土器の口径が原則1/8以上のもの。
※区分後、3年間、展示・閲覧等活用しない場合はDランクに下げる。

D：活用の可能性がないもの又は活用の可能性が極めて低いもの

(オ) 委託先 (株)文化財サービス

(カ) 委託料 432,000円

6 乙訓文化財事務連絡協議会

(1) 目的

乙訓2市1町の教育委員会、(公財)向日市埋蔵文化財センター、(公財)長岡京市埋蔵文化財センターの5機関で構成し、情報交換及び相互の連絡調整を図るためのものである。平成29年度は、長岡京市教育委員会が代表幹事を務めた。

(2) 協議会

情報交換、連絡調整及び「スライドでみるおとくにの発掘」の準備のための協議会を2回実施した。

(3) 「スライドでみるおとくにの発掘」

ア 開催日 平成30年3月4日(日)

イ 場所 長岡京市立図書館3階 大会議室

ウ 内容

(ア) 特別報告「長岡京の貴族邸宅ー右京二条三坊二町の調査成果よりー」

(講師 (公財)長岡京市埋蔵文化財センター)

(イ) スライド報告会

a 長岡宮内裏外郭築地発見ー長岡宮跡第521次調査成果からー

(講師 (公財)向日市埋蔵文化財センター)

b 大山崎瓦窯跡の調査

(講師 大山崎町教育委員会)

c 芝古墳の調査成果ー乙訓における古墳時代後期の首長墓ー

(講師 京都市文化市民局)

エ 参加者 90人

7 文化財の広報普及事業

(1) 物集女車塚古墳の石室一般公開

ア 事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金
史跡長岡京跡・埋蔵文化財活用業務

イ 目的 平成6年度に整備工事を完了した物集女車塚古墳の石室を広く市民に公開し、古墳への理解と文化財保護意識の向上を図るため。

ウ 開催日 平成29年5月23日～5月31日

エ 場所 物集女車塚古墳

オ 見学者 見学者566人 1日平均70人

カ その他 一般公開日以外も、見学を希望する団体には、臨時に石室を公開して説明を実施した。

5団体 282人

番号	臨時公開日	団体名	見学者数
1	4月15日(土)	花園大学	11人
2	5月13日(土)	京都橘大学	40人
3	5月23日(火)	第3向陽小学校	86人
4	6月5日(月)	第5向陽小学校	59人
5	6月19日(月)	第2向陽小学校	28人
6	6月22日(木)		58人
合 計			282人

(2) AR「墳タビ! 物集女車塚古墳」ダウンロード者数

月	ダウンロード数	月	ダウンロード数
4月	384人	10月	47人
5月	205人	11月	44人
6月	69人	12月	36人
7月	71人	1月	39人
8月	919人	2月	39人
9月	1,635人	3月	45人
計		3,533人	

平成28年度 248人
平成29年度 3,533人 累計 3,781人

(3) 古代衣装の貸出

長岡京時代の衣装(雑色3、女官3)を朝堂院公園に常備し、来園者に貸し出すほか、イベントの際には、史跡案内員等が着用し、史跡の解説等を行った。
貸し出し人数 75人

(4) 資料の貸出等

長岡京時代の衣装(雑色3、女官3)を朝堂院公園に常備し、来園者に貸し出すほか、イベントの際には、史跡案内員等が着用し、史跡の解説等を行った。
貸し出し人数 75人

ア 貸出等 (5機関に119点の資料を貸出)

番号	機関名等	点数	用途
1	大阪歴史博物館	4	常設展示「難波宮の時代」出展
2	京都府立山城郷土資料館	3	常設展示「南山城の歴史と文化」出展
3	滋賀県立安土城考古博物館	5	秋季特別展「青銅の鐸と武器—近江の弥生時代とその周辺—」出展
4	(公財)向日市埋蔵文化財センター	22	「発掘調査成果報告展」出展
		9	小学校へ出張講座に使用
		34	高等学校での考古学講座に使用
		12	小学校PTA秋祭りにて展示
5	(公財)元興寺文化財研究所	30	夏季企画展「鎮物としての武具」出展
計		119	

イ 写真資料提供、掲載等

(11機関に69点を提供)

番号	機 関 名 等	点数	用 途
1	宮内庁	18	『古墳時代の日朝交流と金工品』に掲載
2	国立歴史民俗博物館	1	展示室内のグラフィックパネル等に使用
3	滋賀県立安土城考古博物館	5	秋季特別展「青銅の鐸と武器—近江の弥生時代とその周辺—」図録等に掲載
4	向日市文化資料館	2	『向日市史概要版』『向日市の歴史』に掲載
5	坂出市史編さん所	3	『坂出市史資料補遺古代・中世篇』に掲載
6	琴浦町教育委員会	3	特別史跡・史跡保存活用計画に掲載
7	(公財)元興寺文化財研究所	30	夏季企画展「鎮物としての武具」図録等に掲載
8	(公財)石川県埋蔵文化財センター	1	発掘報告会当日配布資料に掲載
		1	『石川県埋蔵文化財情報』に掲載
9	一般企業	1	『冊子』に掲載
10	一般企業	1	物集女車塚古墳の活用促進のための動画作成
11	一般企業	3	『冊子』に掲載
計		69	

ウ 資料見学等

(3機関に19点の資料を提供)

番号	機 関 名 等	点数	用 途
1	奈良文化財研究所	3	調査研究
2	大阪歴史博物館	15	調査研究
3	北九州市立自然史・歴史博物館	1	調査研究(多数の資料を一式、1点として取り扱う)
計		19	

(5) 文化財の普及・啓発

ア 事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

史跡長岡宮ほか 地域の特色ある埋蔵文化財活用

イ 目的 朝堂院公園での案内をはじめ、展示や講演会、考古学講座などを一体的に実施し、市民の参加や史跡等の活用の機会を増やし文化財保護への理解を深めるとともに、文化遺産を生かした観光振興・地域活性化を目指すため。

ウ 業務 (公財)向日市埋蔵文化財センターに委託

エ 内容

(ア) 史跡長岡宮跡：朝堂院公園地区

文化財案内員を配置、史跡の管理、説明等を行った。(案内員7人)

(案内員が説明した人数)

月	稼働日数	利用者数	1日平均	月	稼働日数	利用者数	1日平均
4月	30日	876人	29.20人	10月	31日	711人	22.94人
5月	31日	806人	26.00人	11月	30日	1,215人	40.50人
6月	30日	1,216人	40.53人	12月	27日	829人	30.70人
7月	31日	283人	9.13人	1月	27日	558人	20.67人
8月	24日	171人	7.13人	2月	28日	954人	34.07人
9月	30日	612人	20.40人	3月	31日	964人	31.10人
計					350日	9,195人	26.27人

平成22年度	3,702人		
平成23年度	6,691人		
平成24年度	5,857人		
平成25年度	6,016人		
平成26年度	6,645人		
平成27年度	8,218人		
平成28年度	10,555人		
平成29年度	9,195人	累計	56,879人

朝堂院公園来訪者数が5万人に達したため、平成29年6月29日(木)に来訪者5万人認定式を行い、向陽小学校6年生に記念品を贈呈した。

(AR長岡宮の体感者数)

月	ダウンロード数	タブレット貸出利用者数	計	月	ダウンロード数	タブレット貸出利用者数	計
4月	819人	11人	830人	10月	65人	28人	93人
5月	148人	180人	328人	11月	56人	14人	70人
6月	60人	355人	415人	12月	45人	29人	74人
7月	68人	26人	94人	1月	197人	3人	200人
8月	809人	25人	834人	2月	38人	4人	42人
9月	1,630人	21人	1,651人	3月	43人	6人	49人
				計	3,978人	702人	4,680人

平成26年度	2,987人		
平成27年度	2,243人		
平成28年度	4,474人		
平成29年度	4,680人	累計	14,384人

(イ) 市民考古学講座「考古学の通説を見直す～向日市発、重大発見から～」

	テーマ	開催日	内 容	参加者
		開催地等		
1	「古墳から王族の系譜を読み解く」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成29年6月25日(日) 文化資料館研修室	講座	112人
2	「古墳出現期土器作りの復原」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成29年7月22日(土) 文化資料館研修室	講座	78人
3	「最古の古墳を見直す～纏向古墳群と箸墓古墳～」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成29年9月30日(土) 集合：JR桜井線巻向駅 解散：JR三輪駅	見学会	42人
4	「唐王朝への憧憬 - 長岡宮「翔鸞楼」と門闕構造の源流 -」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成29年10月21日(土) 文化資料館研修室	講座	47人
5	「復原された古代建築を見直す～平安神宮と京都御所～」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成29年11月25日(土) 文化資料館研修室	講座	46人

	テーマ	開催日	内 容	参加者
		開催地等		
6	「古代朝政の変革 - 長岡宮内裏の配置構造から -」 (講師 向日市埋蔵文化財センター)	平成29年12月16日(土)	講座	67 人
		文化資料館研修室		
講演会	「古墳と国家形成」 (講師 京都大学准教授)	平成29年 7 月 2 日(日)	講演会	121 人
		文化資料館研修室		
計				513 人

(6) 平成29年度調査研究成果報告展

『古墳時代の祖霊観』

ア 展示

- (ア) 期 間 平成29年 9 月 2 日～平成29年10月 9 日
 (イ) 場 所 向日市文化資料館ラウンジ
 (ウ) 来館者数 2,047人

イ 講演会

- (ア) 内 容 「古墳時代の埋葬と系譜意識」 (講師 岡山大学大学院教授)
 (イ) 開 催 日 平成29年10月 7 日(土)
 (ウ) 場 所 文化資料館研修室
 (エ) 参加者数 103人

(7) 「史跡めぐり 大発見向日市～隠れた名所を探して～Part 2」

市内 4 か所の史跡等をめぐる自由参加型のウォーキングイベントを行った。全参加者に、史跡解説冊子『大発見向日市』、シール台紙付きの遺跡解説冊子を配布した。チェックポイントでシールを集めた参加者には、ゴール地点にて記念品を差し上げた。

ア 開催日時等

平成30年 2 月11日(日・祝) スタート受付 午前10時～正午 阪急東向日駅
 ゴール受付 午前11時～午後 3 時 朝堂院公園

イ チェックポイント

ひまわり公園(朝堂院北方官衙・岸ノ下遺跡)、ふれあい広場・歴史文化交流センター(鶏冠井遺跡・石田遺跡)、鴨田公園(鴨田遺跡・中福知遺跡)、上植野城公園(上植野城・南小路古墳)

ウ 参加者

約200人

(8) 埋蔵文化財現地説明会の開催

- ア 長岡京跡長岡宮第521次発掘調査 平成29年 9 月 9 日(土) 参加者 約200人
 イ 五塚原古墳第 9 次発掘調査 平成29年10月21日(土) 参加者 約60人

8 文化財保護団体の育成

市内に所在する文化財保護団体の育成のため、その活動費の一部を補助した。

各種文化財保護団体補助

- ア 大極殿遺蹟保存協賛会 40,000円
 イ 森本遺蹟保存会 19,000円
 ウ 物集女城を考える会 19,000円

10 教育費 4 社会教育費 5 留守家庭児童会育成費

① 留守家庭児童会育成費（生涯学習課）

1 留守家庭児童会の入会児童数

(単位：人)

留守家庭児童会	児童数（5月1日現在）										
	29年度							28年度	27年度	26年度	25年度
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計				
第1	36	35	18	9	10	1	109	124	94	97	86
第2	41	25	26	18	4	9	123	107	92	84	84
第3	22	16	21	8	6	7	80	76	75	58	67
第4	46	41	17	16	4	2	126	103	107	94	90
第5	37	27	15	22	4	0	105	89	95	78	86
第6	18	17	21	12	0	1	69	60	60	42	41
合計	200	161	118	85	28	20	612	559	523	453	454

留守家庭児童会保護者協力金調定額 (現年度分)	平成29年度 37,668,100円	平成28年度 34,421,200円	平成27年度 32,799,700円	平成26年度 28,667,300円

留守家庭児童会	指導員・嘱託指導員数	アルバイト数（加配）	施設
第1	5人	4人	鉄骨造 297.00㎡
第2	5	7	〃 167.51
第3	4	3	〃 175.31
第4	6	4	〃 200.81
第5	5	4	〃 287.67
第6	3	3	〃 111.78
合計	28	25	

(平成29年5月1日現在)

2 留守家庭児童会指導員研修会

留守家庭児童会指導員の資質向上を図るため、研修会を実施した。

実施日	研修内容	活動場所
5月31日（水）	「緊急対応」について	第1留守家庭児童会
7月5日（水）	「けが等の対応」について	第1留守家庭児童会
9月8日（金）	人権研修会	福祉会館
9月20日（水）	消防訓練	第6留守家庭児童会
10月11日（木）	救命講習	向日消防署
11月27日（月）他	消防訓練	各留守家庭児童会
1月24日（水）	人権研修会	福祉会館

10教育費 4社会教育費 6図書館費

② 図書館管理運営費（図書館）

1 資料受入れ・廃棄状況

(1) 図書・聴覚資料

(単位：冊、点)

	一般図書	児童図書	C	D	カセット	レコード	合計
購入	2,811	1,383		63	0	0	4,257
寄贈	197	42		0	0	0	239
その他	70	65		0	0	0	135
廃棄	1,420	244		29	60	0	1,753
合計	1,658	1,246		34	△ 60	0	2,878

(2) その他の資料

	雑誌(種)	雑誌(冊)	新聞(種)
購入	62	884	8
寄贈	11	119	2
その他	-	3	-
合計	73	1,006	10

※寄贈には雑誌スポンサー分を含む。

2 資料所蔵状況

(1) 図書

(単位：冊)

	一般図書	児童図書	合計
総記	4,041	348	4,389
哲学・宗教	4,004	224	4,228
歴史・地理	12,949	1,736	14,685
社会科学	18,449	1,454	19,903
自然科学	8,007	3,402	11,409
技術・家政学	8,844	1,263	10,107
産業	3,533	692	4,225
芸術・スポーツ	10,273	1,417	11,690
言語	2,012	402	2,414
文学	19,272	17,918	37,190
近代小説	28,669		28,669
外国の本	587	129	716
絵本		19,363	19,363
紙芝居		1,408	1,408
長岡宮跡関係	127		127
向日市関連	294	58	352
ヤングアダルト	820	776	1,596
合計	121,881	50,590	172,471

(2) 聴覚資料 (単位：点)

資料名	所蔵数
C D	4,499
カセットテープ	1,153
レコード	18
合計	5,670

3 図書館運営状況

(1) 貸出資料数 (単位：冊、点、日)

合計	一般図書	児童図書	雑誌	聴覚資料	他館借用資料	開館日数	平均		
							1日当たり	土日	祝日
325,784	157,538	139,367	11,300	16,177	1,402	291	1,120	1,585	1,153

(2) 貸出者数 (単位：人、日)

合計	一般	児童	開館日数	平均		
				1日当たり	土日	祝日
88,289	74,629	13,660	291	304	437	296

(3) 各種サービス

資料の貸出しのほか、以下のサービスを行った。

- ア レファレンス 74件
- イ コピー 7,114枚 (うちカラー308枚)
- ウ 予約 20,504件
- エ 他館との資料の相互貸借 貸出し 685件 借用 1,619件
- オ 障がい者サービス ライトハウスからカセットテープを借用し提供 174巻
自宅配本 43回 228点
- カ 外部データベース・インターネット 利用件数 844件

(4) インターネットホームページの運営・管理

- ア 「マイ本棚」機能[※]の運用
- イ 「読書手帖」[※]、「資料検索」ページの充実
- ウ インターネットサービス (インターネット予約受付件数 12,590件、貸出期間の延長)
- エ 「京都府図書館総合目録ネットワーク」の横断検索に対応

※ 「マイ本棚」機能は、読書記録等を専用のインターネットサイトに残す機能。「読書手帖」は読書記録を残すノートを図書館ホームページからダウンロードできるサービス

4 雑誌スポンサー制度の導入

7法人が申請し、9誌の提供をいただいた。

5 施設の維持管理等

通常の管理のほかに、玄関階段の手摺を新設するなど施設・設備の設置及び修繕を行った。

6 ボランティア活動

- (1) アベリアクラブ 18人
活動 本の修理 延べ 471人、1,924冊を修理
- (2) きっず・らいぶらりー 15人
活動 おはなしひろば 8回開催 参加人数 子供 141人 大人 88人
打ち合わせ・リハーサル等延べ活動人数 225人
- (3) 大人の朗読会ボランティア 7人
4回開催 参加人数 97人

7 図書館・文化資料館利用環境整備事業(平成29年度主要事業)

身近で、より利用しやすい図書館・文化資料館とするため、従来は振替休館としていた祝日・休日の翌日を、原則として開館することとし、開館日が16日増加した。

③ 読書推進事業費(図書館)

事業名・テーマ	開催日	参加人数	内容
〈おはなし会 プラスコンサート〉 『なつやすみ おはなし会』 『ふゆやすみ おはなし会』 『はるやすみ おはなし会』	平成29年 7月26日 (延べ2回) 平成29年 12月27日 (延べ2回) 平成30年 3月21日 (延べ2回)	38人 35人 40人	絵本によるお話、紙芝居、ストーリーテリング(素ばなし)、CDによる音楽の紹介等を職員が行った。 《対象》夏・冬4歳～小学生 春 4歳以上、保護者
おはなしひろば	毎月第3土曜日 (7・8・12・3月を除く。)8回	229人	親と子どものふれあい、児童の読書推進を目的に、図書館ボランティアが開催した。
大人の朗読会	平成29年6月25日 9月5日 11月3日 平成30年3月20日	97人	大人の朗読会ボランティアグループによる名作の朗読会を実施した。
図書館リサイクル・デー	平成29年6月22日	130人	保存年限の経過した雑誌、図書を、資源の有効活用を目的として、市民に無償で譲渡した(928冊)。この事業は環境月間事業の一環として実施した。
図書館ボランティア講習会	平成29年10月17日	11人	図書館で本の修理を行うボランティアの技能向上のための講習会を実施した。

事業名・テーマ	開催日	参加人数	内容
図書館 本の修理ボランティア 養成講座	平成29年11月21日	12人	本の修理ボランティアを募集し、最初に必要な技術を身につけてもらうことを目的に実施した。12人の受講者のうち5人がボランティア登録を行い活動を開始した。
第6回「子ども読書本のしおりコンテスト」入賞作品の展示	平成29年12月22日 ～平成30年1月10日	来館者	京都府図書館等連絡協議会主催の「子ども読書本のしおりコンテスト」の入賞作品を借用して展示した。
第16回小中学生読書感想文コンクール	募集期間 平成29年9月10日 ～30日 入賞者表彰式 平成30年1月6日	178編	市内の小・中学生を対象に読書感想文を公募した。その中から優秀作品を選考し表彰式を実施するとともに入賞作品集を発行した。
文学講座 120分de解き明かす 「近代の文豪・与謝野晶子『みだれ髪』に迫る」	平成30年3月15日 3月22日	88人	近代の文豪シリーズ第5弾として与謝野晶子にスポットを当てた。文豪「与謝野晶子」の生活、思想、取り巻く人々などからその人物像を知ること、作品の特質や魅力を学んだ。
渡邊武コレクション 《常設展示》	平成29年4月～ 平成30年3月	来館者	寄贈を受けた「渡邊武コレクション」を広く市民に紹介するため図書館1階カウンター横の展示ケースにおいて展示した。
体験学習・施設見学	平成29年4月～ 平成30年3月	体験2校 見学 5校5回 1園1回	市内の中学校2年生（7人）の体験学習及び市内小学校、幼稚園の見学（527人）を受け入れた。
自習室の開設	平成29年8月15日 ～25日 (19日～22日を除く)	38人	研修室の空いている期間を利用し、夏休み期間に自習室を開設した。 《対象》小学5年生以上
他機関との協力	随時	来館者	向日市社会福祉協議会、障がい者支援課の事業に協賛して関連図書をテーマ架に配架した。

10教育費 4社会教育費 7資料館費

② 資料館運営費（文化資料館）

1 入館者の状況

- (1) 入館者数 15,018人
- (2) 開館日数 296日
- (3) 1日平均入館者数 51人
- (4) 団体見学 52団体（20人以上の団体のみ）

2 施設の維持管理

清掃管理、リフト保守管理、空調設備保守管理、樹木剪定、収蔵庫燻蒸、地下排水柵洗浄などを委託し、施設の適切な維持管理に努めた。

3 図書館・文化資料館利用環境整備事業（平成29年度主要事業）

身近で、より利用しやすい図書館・文化資料館とするため、従来は振替休館としていた祝日・休日の翌日を、原則として開館することとし、開館日が16日増加した。

③ 文化活動推進事業費（文化資料館）

1 事業

事業名・テーマ	開催日時	参加人数	内容
ゴールデンウィーク特別企画 「鉄道模型運転会」	5月3日(水)～ 5日(金)	延べ 1,019人	当館市民活動グループの模型制作工房が制作した模型「昭和35年(1960)頃の国鉄向日町駅と駅前町並み模型」に、鉄道模型のレールを連結し、昭和35年当時の向日町駅に電車が走る風景を再現した。鉄道模型クラブ「篠山ロマン鉄道」の協力を得て開催し、Nゲージのほか、H0ゲージの鉄道模型も走らせた。
日曜談話会 ①「“兵士”ができるまで—徴兵の歴史と人々—」 ②「未刊「乙訓郡誌」稿の編纂と構成について」 ③「史料紹介 元禄の寺社再興と向日神社との関わり」	①7月30日(日) 午後2時～午後3時30分 ②12月3日(日) 午後3時10分～午後4時 ③12月10日(日) 午後3時30分～午後4時	①10人 ②55人 ③76人	職員が展示準備や資料整理の中で調べた内容を報告し、参加者と意見交換した。
乙訓むこうまち歴史散歩 ①「大枝・大原野を歩く」 ②「桂川沿いの乙訓を歩く」 ③「古代の街道と向日町界隈の遺跡・寺社を訪ねて」 ④「柳谷道・光明寺道を歩く」 ⑤「水陸交通の要衝、山崎を歩く」	①10月28日(土) 午後1時～午後5時 ②11月25日(土) ③12月9日(土) ④1月27日(土) ⑤2月24日(土) ②～⑤いずれも午後1時～午後4時	①17人 ②15人 ③37人 ④27人 ⑤35人	特別展「乙訓郡誌の編纂とその時代」の関連事業として、未刊「乙訓郡誌」稿に記された場所を職員の案内で訪ねて歩く全5回の歴史散歩を開催した。このうち、第3回については、府県の境を越えて西国街道沿いの博物館・資料館が連携して実施する「西国街道リレーウォーク」全8回の第8回として開催した。(阪急西向日駅西口～JR向日町駅)
乙訓むこうまち歴史講座 ①「乙訓の地理」 ②「乙訓の歴史-古代-」 ③「乙訓の歴史-中世-」 ④「乙訓の歴史-近世・近代-」 ⑤「乙訓の文化-大原野-」 ⑥「乙訓の文化-久世・久我・羽束師・淀-」 ⑦「乙訓の文化-向日町-」 ⑧「乙訓の文化-新神足・海印寺・乙訓-」 ⑨「乙訓の文化-大山崎-」 ⑩「乙訓の文化-学校・記念碑-」	①6月18日(日) ②7月16日(日) ③8月20日(日) ④9月17日(日) 台風のため延期し、⑩と合同で開催 ⑤10月15日(日) ⑥11月19日(日) ⑦12月17日(日) ⑧1月14日(日) ⑨2月18日(日) ⑩3月18日(日) ①～⑨は午後2時～午後4時 ⑩のみ午後1時30分～午後4時30分	①59人 ②76人 ③83人 ④- ⑤60人 ⑥50人 ⑦56人 ⑧61人 ⑨59人 ⑩57人	特別展「乙訓郡誌の編纂とその時代」の関連事業として、職員の解説付きで未刊「乙訓郡誌」稿を読む全10回の連続講座を開催した。
特別展開連 記念講演会 ①「自治体史編纂の歴史と西田直二郎について」 ②「桂昌院・徳川綱吉による元禄の寺社再興と金蔵寺・善峯寺」	①12月3日(日) 午後2時～午後3時 ②12月10日(日) 午後2時～午後3時20分	①55人 ②76人	特別展の関連事業として、専門家を招いて講演会を開催した。

2 むこうまち歴史サークルの育成

文化資料館を拠点とする自主学習サークルとして、テーマごとに班を編成し、各班ごとに毎月2回の学習活動を支援・育成した。サークル全体での合同研修会を実施し、他団体と講演会を共催した。

(登録者 49人)

- ・ 4月13日(金)：年次総会
- ・ 7月30日(日)：合同研修会 日曜談話会「“兵士”ができるまで—徴兵の歴史と人々—」に参加
- ・ 11月23日(日)：講演会「乙訓の和歌文化」を「チーム乙訓」と共催

歴史学習班：地域の歴史を研究する(資料：『京都 乙訓 西岡の戦国時代と物集女城』)

石造物班：地域に残された石造物を訪ねる(乙訓地域及び近隣の石造物(記念碑・道標)調べ)

史跡めぐり班：乙訓の史跡を訪ねる(未刊乙訓郡誌に取り上げられている史跡を訪ねる)

古文書班：市内に残る江戸時代の古文書を読み解く(資料：寺戸村庄屋文書など)

3 文化資料館ボランティアの会の育成

常設展示案内を中心に来館者に応対するガイド班と、収蔵資料の整理、民具の展示などに取り組む資料整理・展示班に分かれて活動するボランティアの会の育成・支援を行った。(登録者18人)

活動内容

- ・ 団体見学の案内等 62件 ・ 総会・月例会 14回 ・ 展示事業の協力 4件
- ・ 夏休み子ども歴史教室準備・作業補助6日間 ・ 資料整理事業 随時 ・ 土曜日の案内延べ 3,767人

4 博物館実習生の受入

地域の歴史や文化財に関心を持ち、主体的に関わろうとする市民を育成する目的で、当館での博物館実習を希望する大学生7人を受け入れ、展示、収蔵資料の整理・管理などの実務を指導した。

④ 調査収集展示事業費(文化資料館)

1 調査収集

- (1) 展示のための資料調査、収集、研究
- (2) 普及活動(歴史教室・日曜談話会など)のための調査、収集、研究
- (3) 乙訓の歴史・文化に関する資料調査、収集、研究
- (4) 図書の収集整理 資料館活動に関する参考図書の収集整理

(平成29年度受領図書 160機関・個人10人 計452冊)

2 資料の公開

- | | |
|------------------|------|
| (1) 収蔵資料貸出 | 2 件 |
| (2) 写真・模型等二次資料貸出 | 27 件 |
| (3) 資料写真撮影・複写 | 66 件 |
| (4) 考古資料閲覧 | 0 件 |
| (5) 古文書閲覧 | 60 件 |
| (6) 民具閲覧 | 1 件 |
| (7) 書籍閲覧 | 2 件 |

3 常設展・テーマ展示コーナー

- (1) 常設展示の点検・清掃・補修
- (2) テーマ展示

常設展示以外に、館収蔵品・寄託品を中心に、テーマを設けた展示を実施した。

タイトル	展示期間
「くらしのなかの戦争展」	7月15日(土)～8月27日(日)
「夏休み子ども歴史教室作品展」	7月30日(日)～8月13日(日)
「くらしの道具展」	1月27日(土)～3月25日(日)

4 特別展「乙訓郡誌の編纂とその時代」

((独法) 日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金助成事業)

(1) 実施内容

大正～昭和初期の歴史・地理研究者によって執筆されながらも未刊に終わった「乙訓郡誌」の編纂過程や時代背景を関連資料とともに紹介する特別展を開催した。旧乙訓郡内の寺社等から多数の文化財を借用して展示し、昭和3年に開催された「郡誌編纂記念展覧会」の内容の大部分を再現した。

(2) 開催期間 11月18日(土)～12月17日(日)

(3) 入館者数 1,303人

5 夏休み子ども歴史教室

向日市子どもたちがものづくりの体験を通じて地域の歴史を学び継承していくため、夏休み期間中に歴史教室を開催した。

(1) 実施内容

戦国時代に乙訓地域で活躍した武士集団「西岡衆」や兜、鎧の変遷などについて学び、厚紙で兜を作る歴史教室を開催した。

(2) 開催日時

7月27日(木)・7月28日(金) ともに午後1時30分～午後4時

※7月30日(日)から8月13日(日)まで、教室で作成した兜の作品展を開催した。

(3) 参加人数 19人

6 連続ワークショップ「着る、読む、学ぶ 古代の都・長岡京」

(京都府「文化を未来に伝える次世代育み事業」)

向日市子どもたちが向日市域の歴史の中でも特徴的な時代である古代の都・長岡京について学習し、実体験を交えながら郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうことを目的として、全3回の連続ワークショップ及び成果発表会を開催した。

(1) 実施内容

- ア 「着る」：古代衣裳の名称や機能などについて学び、復元古代衣裳の着用体験を行った。
- イ 「作る」：古代の貴族が身に着けていた装飾品や身分制度のことを学習し、現代の素材を用いて装飾品を復元製作する体験を行った。
- ウ 「学ぶ」：文化資料館常設展示室に展示している出土遺物や模型を見ながら職員の解説で長岡京の歴史について学んだ後、成果発表会の群読の練習を行った。
- エ 成果発表会「長岡京遷都ものがたり」：連続ワークショップの成果発表会として、長岡京遷都の日になむ11月11日、古代衣裳を着た子どもたちが長岡京遷都の背景やその前後のエピソード、長岡京発掘の歴史などを観客に向けて語る群読を披露した。

(2) 開催日時

- ア 9月16日(土) 午後1時30分～午後3時30分
- イ 10月14日(土) 午後1時30分～午後3時30分
- ウ 11月4日(土) 午後1時30分～午後3時30分
- エ 11月11日(土) 午前9時30分～午後0時30分

(3) 参加人数

- ア 11人
- イ 12人
- ウ 13人
- エ 14人 エの成果発表会の参観者59人、従事ボランティア13人

7 大極殿衣裳行列(雨天のため中止。ステージ発表及び文化資料館内での写真撮影会のみ実施)

(1) 実施内容

「向日市まつり」において、古代衣裳を着用した市民モデルが会場内を歩く「大極殿衣裳行列」を予定していたが、雨天により中止となったため、行列に参加予定だった市民モデルのうち希望者が古代衣裳を着用して「ふるさとステージ」に登壇し、古代衣裳研究家・山口千代子氏が古代衣裳の解説を行った。その後、文化資料館内で記念写真の撮影会を行った。

(2) 開催日時

11月18日(土) 午後1時30分～午後3時

(3) 参加人数(文化資料館内 記念写真撮影会)

ボランティアスタッフ 8人 参加者・関係者 55人

8 市内民家公開展示協力事業

上植野・中小路家住宅をはじめ、市内の歴史的民家を保存・活用する市民団体の活動に対し、資料の貸し出しや展示作業について協力した。

展示事業

開催日	場所	内容
3月1日(木)～3月5日(月)	中小路家住宅	ひな人形の展示
3月1日(木)～3月5日(月)	富永屋	ひな人形の展示

10 教育費 4 社会教育費 8 天文館費

② 天文館管理運営費（天文館）

1 プラネタリウム関係

(1) 一般投影及び団体予約投影番組

「たいようくんとおつきちゃん」 「七夕ものがたり」
 「THE MOON 月のふしぎ」 「Wonders of the Universe」
 「宇宙～その大きさを感じてみよう」 「流れ星をおいかけて」
 「宇宙はノンストップ」 「『オーロラの調べ』 神秘の光を探る」
 「妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい！」

ア 総入館者数及び開館日数

	観覧者数（予約及び一般投影）					ロビー 展示のみ 入館者	入館者 総数	開館 日数
	投影回数	大人	小中学生	幼児	観覧者計			
計	682回	3,503人	2,141人	3,412人	9,056人	2,082人	12,706人	242日

※入館者総数には、定例観望会、特別観望会、天文学等講座、教室、特別事業参加者人数を含む。

イ 団体予約学習投影

	投影 日数	投影 回数	市内	市外	観覧料		観覧者数			
					有料	免除	大人	小中学生	幼児	合計
計	47日	77回	14件	67件	17件	64件	467人	578人	2,266人	3,311人

ウ 一般投影

（単位：人）

	投影 日数	投影 回数	観覧者数（予約及び一般投影）			
			大人	小中学生	幼児	合計
計	184日	605回	3,036人	1,563人	1,146人	5,745人

(2) 特別企画

ア プラネタリウム投影券の引替事業

対 象 市内在住の小・中学生全員

特別支援学校の児童・生徒は介護者又は保護者1人

期 間 平成29年6月1日（木）～平成29年10月1日（日）

配布枚数 市立小学校生3,100枚、市立中学校生1,474枚、特別支援学校生37枚

引替数 小学生 155人、中学生 9人 合計164人

イ 七夕コンサート

日 時 平成29年8月5日（土） 午後4時30分～午後5時30分

内 容 ピアノの生演奏と当日の星空解説のコラボレーション

出 演 出口千夏さん

参加者数 57人

ウ 星空☆落語

日 時 平成29年10月21日（土） 午後4時～午後5時

内 容 大学の落語研究会による、落語と当日の星空解説を愉しむ

出 演 立命館大学の落語研究会の皆さん

参加者数 22人

エ 秋の特別投影

日 時 平成29年10月28日（土）
1回目 午後2時～午後2時45分、2回目 午後3時15分～午後4時
講 師 向日市天文館ボランティア
内 容 秋の星空案内と講師自作のこぎつねチロンの創作物語とのコラボレーション
入場者数 1回目 45人、2回目 37人 合計82人

オ クリスマスコンサート

日 時 平成29年12月16日（土） 午後3時30分～午後4時30分
内 容 ジャズバンドの生演奏と当日の星空解説のコラボレーション
出 演 楽隊ブラスレンジャー
入場者数 63人

2 天体観望会関係

(1) 定例天体観望会

目 的 星空解説や星座等の観望を通して天体への関心を深めてもらうことを目的に開催
開 催 日 毎月第2土曜日 午後7時～午後9時
開催回数 12回
天体観測・星空解説ともに開催 5回
星空解説のみ開催 7回
申込人数 622人 （市内： 217人、市外： 405人）
参加人数 364人 （市内： 135人、市外： 229人）

(2) 特別天体観望会

ア スターウォッチング in 朝堂院

目 的 野外観望会を通して天体への関心を深めることを目的に開催
日 時 平成29年6月3日（土） 午後7時30分～午後8時30分
会 場 朝堂院跡
内 容 望遠鏡や双眼鏡を使い、月や惑星、春の星座等を観望
参加人数 215人

イ 昼の金星観望会

目 的 月と同様に満ち欠けする金星を観望することにより、宇宙への興味と科学に対する関心を深めることを目的に開催
日 時 1回目 平成29年5月3日（水）～7日（日） 午前10時30分～午前11時30分
2回目 平成29年7月22日（土）・23日（日） 午前10時30分～午前11時30分
3回目 平成29年7月29日（土）・30日（日） 午前10時30分～午前11時30分
会 場 天体観測室
内 容 反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望
参加人数 1回目 136人、2回目 73人、3回目 33人

ウ 夏休み親子天体観望会

目 的 夏休みに、小学生とその家族が天体観望会に参加し、天体に関心を深めることを目的に開催

日 時 平成29年 7月29日 (土) 午後 7時30分～午後 8時30分
会 場 天体観測室及び星見台
内 容 反射望遠鏡・屈折望遠鏡等で観望
参加人数 51人 (申込み者数94人)

エ 中秋の名月特別観望会

目 的 中秋の名月を自由に観望し、天体に関心を深めることを目的に開催
日 時 平成29年10月 4日 (水) 午後 7時30分～午後 8時30分
会 場 星見台及びプラネタリウム室
内 容 望遠鏡や双眼鏡等で自由に観望。プラネタリウム室でライブ投影も同時開催し、
座ってお月見を愉しむ。
参加人数 41人

3 講座・講演関係

(1) 天文実験講座 「雲を作ろう」

日 時 平成29年 7月27日 (木) 午前 9時30分～正午
会 場 天文館ロビー
講 師 アストロ・アカデミア講師
参加者数 28人

(2) 天文学講座

第1講講座 「一番星の女神～金星の謎にせまる」 & 「僕の名前は冥王星」のプラネタリウム
投影講座

日 時 平成29年 9月 9日 (土)・10日 (日) 10時・11時・12時・13時・14時・15時・16時
会 場 天文館プラネタリウム室
参加者数 174人

第2講講座 「膨張する宇宙」

日 時 平成29年11月19日 (日) 午後 4時～午後 5時
会 場 天文館プラネタリウム室
講 師 アストロ・アカデミア講師
参加者数 44人

第3講講座 「星の磁石は反転する!？」

日 時 平成29年12月17日 (日) 午後 4時～午後 5時
会 場 天文館プラネタリウム室
講 師 アストロ・アカデミア講師
参加者数 26人

(3) 出前講座 市立の6小学校へ出向き、天文に関する講座を開催

日 時 平成29年10月～12月
会 場 各小学校
講 師 アストロ・アカデミア講師
参加者数 向陽小学校 5年生 95人、第2向陽小学校 4年生 96人
第3向陽小学校 6年生 87人、第4向陽小学校 6年生 95人
第5向陽小学校 4年生 97人、第6向陽小学校 4年生 77人

(4) 特別天文講演会 「見えない“ひかり”で宇宙を探るー赤外線で見える宇宙ー」

日 時 平成30年2月17日（土）午後1時30分～午後2時30分
会 場 天文館プラネタリウム室
講 師 JAXA宇宙科学研究所准教授
参加者数 67人

4 天文教室関係

(1) 夏の天文教室 ①②

日 時 平成29年7月21日（金）・26日（水）午前11時～午前11時45分
会 場 天文館プラネタリウム室
内 容 「プラネタリウムで星をさがそう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般（①は小学4年生以上、②は小学生以上）
参加人数 20人

(2) 夏の天文教室 ③

日 時 平成29年7月28日（金）午前9時30分～正午
会 場 天文館ロビー
内 容 「望遠鏡を作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般（小学4年生以上）
参加人数 18人

(3) 夏の天文教室 ④

日 時 平成29年7月29日（土）・30日（日）午後1時30分～午後2時30分
会 場 天文館会議室
内 容 「天文学の基礎の基礎を学びましょう」
講 師 向日市天文館ボランティア
参加対象 一般（小学4年生以上で2日とも参加できる方）
参加人数 延べ9人

(4) 夏の天文教室 ⑤

日 時 平成29年8月16日（水）午前10時～正午
会 場 天文館会議室
内 容 「オリジナルの下じきを作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 小学1年生～3年生
参加人数 12人

(5) 夏の天文教室 ⑥

日 時 平成29年8月17日（木）午前10時～正午
会 場 天文館会議室
内 容 「デコアートを作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 小学4年生～中学3年生
参加人数 9人

(6) 冬の天文教室 ①

日 時 平成30年1月27日(土) 午後3時30分～午後4時15分
会 場 天文館会議室
内 容 「プラネタリウムで星をさがそう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般(小学生以上)
参加人数 11人

(7) 冬の天文教室 ②

日 時 平成30年2月24日(土) 午前10時～正午
会 場 天文館会議室
内 容 「デコアートを作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般(小学4年生以上)
参加人数 5人

(8) 冬の天文教室 ③

日 時 平成30年2月25日(日) 午前10時～正午
会 場 天文館会議室
内 容 「望遠鏡を作ろう」
講 師 向日市天文館職員
参加対象 一般(小学3年生以下は、1人につき保護者1人同伴)
参加人数 8人

5 天文館有識者の会関係

(1) 「向日市天文館有識者の会議」を開催

日 時 平成29年7月14日(金) 午前10時30分～正午
会 場 図書館2階研修室
内 容 天文館の平成28年度事業報告他
参加人数 天文館有識者の会4人と事務局

10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

② スポーツ健康増進事業費(生涯学習課)

市民の健康の保持・増進とコミュニケーション形成に寄与するため、市民の誰もが、いつでも、どこでもスポーツ活動を行える生涯スポーツの普及、条件整備に努めた。

また、生涯スポーツを振興する上で、指導的役割を担うスポーツ推進委員の資質向上のため、研修機会の拡充に努めた。

(主な事業内容)

- 第36回市民総合体育大会(4月23日～8月20日)
- スポーツ交流フェア(10月9日)
- スポーツランド(11月18日 ※雨天のため中止)
- 地区社会体育振興会等への支援
- ワイワイスポーツクラブへの支援

1 スポーツ推進委員 13人（男7人、女6人） ※平成29年4月1日現在

- (1) スポーツ推進委員協議会定例会を毎月第1木曜日に開催した。
- (2) スポーツ推進委員協議会において毎月1回実技研修を開催した。
- (3) 主に教育委員会、スポーツ文化協会、ワイワイスポーツクラブなどが実施する事業に対して運営協力を行った。
- (4) 乙訓スポーツ推進委員連絡協議会研修会・大会

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
総 会	5月31日	長岡京市役所会議室	10人
評 議 員 会	5月19日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	9月20日	京都府乙訓総合庁舎	3人
	3月20日	長岡京市役所会議室	3人
第1回乙訓スポーツ指導者研修会	7月18日	向日市民体育館	9人
第2回乙訓スポーツ指導者研修会	12月15日	西山公園体育館	12人
山城地方スポーツ推進委員交流会	10月17日	黄檗体育館多目的アリーナ	1人
乙訓地区スポーツ推進委員交流会	12月3日	史跡長岡宮朝堂院公園から向日市内一円	7人

(5) その他研修会等

研 修 会 ・ 大 会	期 日	会 場	参 加 人 数
第50回京都府スポーツ推進委員研究大会	6月18日	綾部市総合運動公園 他	11人
近畿スポーツ推進委員研究協議会	2月2日、3日	豊中市立文化芸術センター 他	10人

2 学校体育施設及び向日町競輪場スポーツ施設の開放

(1) 小学校体育施設

(単位：回)

学校名	運動場開放状況						体育館（大体育室）開放状況					
	開放回数		使用回数		稼働率		開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
向陽小学校	186	338	151	114	81.2%	33.7%	174	310	130	166	74.7%	53.5%
第2向陽小学校	186	341	156	9	83.9%	2.6%	168	306	124	293	73.8%	95.8%
第3向陽小学校	180	336	98	177	54.4%	52.7%	165	309	137	224	83.0%	72.5%
第4向陽小学校	180	333	153	279	85.0%	83.8%	164	295	118	281	72.0%	95.3%
第5向陽小学校	161	301	105	50	65.2%	16.6%	155	294	98	203	63.2%	69.0%
第6向陽小学校	189	334	185	276	97.9%	82.6%	175	313	133	222	76.0%	70.9%
合 計	1,082	1,983	848	905	78.4%	45.6%	1,001	1,827	740	1,389	73.9%	76.0%

(2) 中学校体育施設

(単位：回)

学 校 名	体育館（大体育室）開放状況		
	開放回数	使用回数	稼働率
	夜間	夜間	夜間
勝山中学校	262	212	80.9%
西ノ岡中学校	253	231	91.3%
寺戸中学校	267	264	98.9%
西ノ岡中学校武道場	263	196	74.5%
合 計	1,045	903	86.4%

(3) 向日町競輪場スポーツ施設

(単位：回)

施設名	開放回数		使用回数		稼働率	
	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
多目的運動広場（Aグラウンド）	60	332	0	2	0.0%	0.6%
多目的運動広場（Cグラウンド）	1,008		45		4.5%	
テニスコート（2面）	874		384		43.9%	
卓球場	847		519		61.3%	
陸上トラック	436		0		0.0%	

(4) 小学校グラウンドナイター投光器修繕

ア 修繕箇所 第5向陽小学校

イ 修繕料 3,807,000円

(5) 小学校グラウンドナイター照明保守点検

ア 点検箇所 第3向陽小学校、第6向陽小学校

イ 点検料 307,800円

3 スポーツ振興事業

(1) 第36回市民総合体育大会の開催（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

種 目	参加チーム・参加者数	期 日
ソフトボール 男子	7チーム 115人	4月23日
シニア（女子）	3チーム 43人	4月23日
テニス	30人	6月11日
ボウリング	30人	6月11日
バドミントン ダブルス	88人	6月18日
バレーボール 男子	5チーム 39人	7月9日
女子	4チーム 48人	6月25日
グラウンド・ゴルフ	73人	7月16日
ゲートボール	6チーム 29人	6月11日
卓球	97人	8月20日
ソフトテニス	56人	7月17日
バスケットボール	60人	7月9日
合 計	708人	

(2) スポーツ交流フェア（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

日 程 10月9日（月・祝）

会 場 市民体育館

競技名			参加者数
交流試合	玉入れ	地区	40人
		オープン	30人
	カローリング	地区	53人
ハンナリーズバスケットボールクリニック			50人
バレーボールクリニック			8人
耳つぼジュエリー			20人
アロマスプレーづくり			18人
ヨガ			21人
ストレッチ&トレーニング講座			9人
トレーニング室無料開放			57人
スポーツ体験（卓球・バドミントン・スリータッチ）			112人
ミニ体カテスト			80人
合 計			498人

(3) スポーツランド（向日市まつり）

日 時 11月18日（土） 午前10時～午後4時

会 場 向日町競輪場走路内グラウンド

内 容 グラウンド・ゴルフ、ドッジビー的当て、輪投げ、玉入れ、テニトリ合戦、
サッカー的当て

指 導 者 スポーツ推進委員

参加者数 雨天のため中止

(4) スポーツ指導者研修会（（公財）向日市スポーツ文化協会との共催事業）

内 容	実施日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
講演 「スポーツを楽しもう」	1月21日（日） 午後3時00分 ～4時40分	ホテル 京都エミ ナース	市内 スポーツ 関係者	98人	株式会社Bright Body アスレティックトレーナー

4 体育団体育成事業

(1) 少年スポーツ団体への事業補助

団 体 名	種 目 名	団 員 数
向日市スポーツ少年団本部 （野球2、サッカー1、バレー1、剣道1、少林寺1、空手1）		7 団体
向日市野球スポーツ少年団	野 球	32 人
向日レジェンド	野 球	44 人
向日ポパイズ	野 球	23 人
向陽オックス	野 球	18 人
向日ウィングス少年野球クラブ	野 球	49 人

団 体 名	種 目 名	団 員 数
向日市少年少女スポーツジュニアバドミントン教室	バドミントン	45 人
向日市柔道教室	柔 道	21 人
日本正武館合気道	合 気 道	14 人
少林寺拳法京都向日町スポーツ少年団	少 林 寺 拳 法	36 人
育成事業補助金額	380,000 円	合 計 282 人

(2) (公財) 向日市スポーツ文化協会への運営・事業補助

○運営・事業補助金 総額 60,161,000円

(内訳) 運営補助金 27,542,000円

事業補助金 32,619,000円

○加盟団体 地区体育振興会 11 地区

種 目 団 体 11 団体

5 各種大会等選手派遣事業

京都府下(市町村対抗)に選手を派遣した。

延べ298人

大会名	期 日	市 町 村 対 抗 競 技	市町村交流種目
第40回京都府民総合体育大会	平成29年9月) 平成30年2月	バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、テニス、軟式野球、バドミントン、ソフトボール、サッカー、ボウリング、ゲートボール、陸上競技、グラウンド・ゴルフ、ゴルフ、駅伝競走	ソフトバレーボール、卓球バレー

6 フレンドシップ協定関連事業

研修会名	実 施 日	場 所	参加対象	参加人数	講 師
向日市健康・アカデミー(健康・体力づくり教室)	3月15日(木)	市民体育館	市内在住の60歳以上の方	33人	京都サンガF.C. 健康アカデミー コーチ

7 市民体育館管理運営

平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成28年度から5年間の指定管理者に(公財)向日市スポーツ文化協会を指定している。

指定管理料 31,631,000円

(1) 体育室稼働率 89.0%

(2) トレーニング室利用状況 23,462人(開室日数346日)

(3) 満足度の調査

8 生涯スポーツ振興事業

教育委員会のスポーツ事業の一部を(公財)向日市スポーツ文化協会に委託した。

委託料 755,000円